



日本の悲劇 (1953)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 116分
初公開日 1953/06/17

【解説】

春子は熱海の旅館で女中として働いている。戦争で夫を失った春子は、二人の子供を育てるため、男に身をゆだねる商売にまで身を落としたこともあった。二人の子供の成長だけが彼女の生き甲斐だったが、二人は彼女の過去の商売に反発し、母に反抗的な態度を取る。医大を卒業した息子は東京にいる医者の子供になるかと家を出た。娘は妻子ある英語教師と駆け落ちをしてしまう。娘のことを相談しようと東京へ行った春子だったが、息子は相談に乗るどころか、彼女のことを冷たくあしらう。

【クレジット】

監督 木下恵介
製作 小出孝
桑田良太郎
脚本 木下恵介
撮影 楠田浩之
音楽 木下忠司
出演 望月優子
桂木洋子
田浦正巳
上原謙
高杉早苗
高橋貞二
佐田啓二
北林谷栄